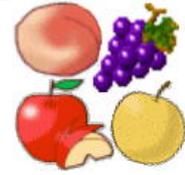


平成27年度 果樹情報 第1号

(平成27年4月1日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (3月5半旬: 果樹研究所)

3月5半旬の平均気温は、5.3℃で平年より0.7℃低く、この期間の降水量は4.5mmで、平年の31.5%でした。

2 発育状況 (果樹研究所)

- (1) ももの発芽は、「あかつき」が3月22日で平年より4日早く、「ゆうぞら」が3月21日で平年より6日早い状況でした。
- (2) なしの発芽は、「幸水」が3月29日で平年より5日早く、「豊水」が3月28日で平年より3日早い状況でした。
- (3) りんごの展葉は、「つがる」が3月31日、「ふじ」が3月30日でともに平年より11日早い状況でした。

表1 発芽・展葉状況

	発芽			展葉			
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	
もも	あかつき	3月22日	3月26日	3月26日	—	—	—
	ゆうぞら	3月21日	3月27日	3月25日	—	—	—
なし	幸水	3月29日	4月3日	4月2日	未	4月17日	4月11日
	豊水	3月28日	3月31日	3月31日	未	4月12日	4月7日
りんご	つがる	3月21日	3月27日	3月27日	3月31日	4月11日	4月5日
	ふじ	3月22日	3月29日	3月28日	3月30日	4月10日	4月3日

注) 平年は1981~2010年の平均値。

3 開花予測 (果樹研究所)

今後の気温が平年並みに経過した場合の開花始めは、もも「あかつき」が4月13日で平年より2日、なし「幸水」が4月20日で平年より3日、りんご「ふじ」が4月24日で平年より3日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意が必要です。

表2 開花予測日 [予測方法: 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測]

	開花始め		今後の気温経過と開花予測日			
	昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い	
もも	あかつき	4月14日	4月15日	4月13日	4月10日	4月15日
	なし	幸水	4月21日	4月23日	4月20日	4月16日
りんご	ふじ	4月25日	4月27日	4月24日	4月20日	4月29日

注) 開花始めの平年は1981~2010年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成27年3月26日発表)より

今後の気温の経過は、1週目（3月28日～4月3日）は高い確率が80%、2週目（4月4日～4月10日）は平年並及び低い確率が各々40%、3～4週目（4月11日～4月24日）は平年並及び高い確率が各々40%となっています。

※ 気象庁では「天気予報」以外にも下記の情報も発表しておりますので、これらも参考にして管理作業や防霜対策を進めましょう。

○季節予報

1か月間や3か月間といった期間全体の大まかな天候を3つの階級で予報しています。

URL: <http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>

○最高・最低気温分布予想

一辺20kmの正方形のマス目にわけて、そのマス目の中の代表的な気温などを予想しており、翌日朝の最低気温の予想などが表示されます。

URL: http://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/data/kouon/t_maxmin.html

4 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

生育が進むにつれ耐凍性が低下し、凍霜害の危険性が高くなりますので、気象情報には十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

事前対策として、防霜資材の手配と準備を徹底するとともに、地温の上昇を図るため、4月中旬以降をめぐりに下草を5cm程度に刈り込みましょう（地際部まで刈ると放射性物質をまきあげるので注意しましょう）。

また、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分の確保に努めましょう（乾燥条件は気温の低下を助長します）。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認のうえ、人工受粉を徹底し結実確保を促しましょう。

(2) 結実確保対策

果樹の開花は、直前の気温に大きく影響されるため、今後の気温の推移に十分注意し、訪花昆虫導入の手配、開やく作業の準備、人工受粉時の労力確保等を計画的に行いましょう。

5 病虫害防除上の留意点

(1) 病害

ア りんご腐らん病

伝染源となる枝腐らん、胴腐らんの発病部位は確実に削り取るかせん除し、塗布剤を塗りましょう。

なお、伐採した被害枝幹及び削り取った病患部は園内に放置せず適切に処分するほか、展葉初期の防除も徹底しましょう。

イ ももせん孔細菌病

前年は生育期間を通じて断続的に発病し、秋期の新梢葉での発病も多発したことから、開花直前の薬剤散布を徹底し、感染防止を図りましょう。また、春型枝病斑やこれに類似

する疑わしい枝枯れ等は、見つけ次第徹底してせん除しましょう。

ウ なし黒星病

本病は前年の被害落葉や罹病芽（りん片）が伝染源となり、開花前から胞子を飛散させるため、発芽1週間後頃の防除を徹底し、初期感染の防止に努めましょう。

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7339
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>